

子育てのお悩みはひとりで抱え込まず、専門家や地域と一緒に最善策を考えましょう！

「ネット・ゲーム依存」「不登校・ひきこもり」「LINE問題」 「発達障がい・うつ・精神疾患」etc… “心の叫び” 相談サロン

- パソコンやスマートフォンをきっかけとする「ネット・ゲーム依存」。そして昨今のLINE問題…。
- そして不登校や非行…。こういった問題行動の背景には子ども達の「見えない心の叫び」があります。
- 「子どもに対して何ができるか」「何をしてあげたらよいのか」。この相談サロンでは、乳幼児期～思春期まで、抱える問題や悩みの違う各世代のお母さん・お父さんの思いと一緒に共有いたします。
- そして、あらためて子どもの心に寄り添い課題を明らかにし、具体的にどうするかを考えていく時間…
- それが、この「“心の叫び” 相談サロン」です。
- 少人数で井戸端のようなアットホームな会ですので、この機会にぜひ一度、お気軽にご参加ください。

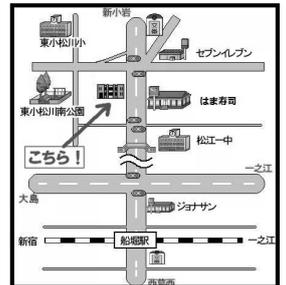
お悩みはひとりで抱え込まず、一緒に考えましょう！

日時 **10月4日(土) 11時~14時**

参加費 **500円 (ミニランチ付)**

場所 **上田令子事務所 (東京都江戸川区東小松川4-57-12)**

主催 **マルチサポートスクール ひだまり (不登校生支援のフリースクール)**
江戸川ワークママ (子育て支援グループ)



～相談担当者プロフィール～

マルチサポートスクール ひだまり 代表 北澤 彰

私立中学校3年生の時、2学期～卒業まで不登校となる。
その後、私立高校に進学するも、5月から約1年間ひきこもりを経験し退学。
翌年入学した、江戸川区内の定時制高校を卒業後、大学に進学、教員免許を取得。
在学中には、江戸川区を中心に適応指導教室や小学校等でボランティア活動をおこなう。
その経験を活かし、通信制サポート校等で働きながら不登校支援をおこない、現在に至る。

1977年7月21日 東京都江戸川区生まれ。
教育職員一種免許状 (中学社会、高校公民・地理歴史)、ネット依存アドバイザー
通信制サポート校 東京ネットワーク 副会長
日本学校メンタルヘルス学会 元評議員
江戸川セントラルリーグ 主宰、アマチュア軟式野球 ライアーズグループ 代表



江戸川ワークママ 代表/東京都議会議員 上田 令子

長男に恵まれた際、マタニティ・ハラスメントに遭い余儀なく退社を強いられる一方で、江戸川区は公立保育園でゼロ歳児保育をやっておらず待機児童で溢れていた。
働きながら子どもを産み育てる…当たり前のことがなぜこんなに困難なのか…
この時、小さな、しかし決して消えない炎が灯る。
99年、仲間3名と子育て応援団「江戸川ワークママ」設立。講習会やシンポジウムを開催。
東京都や経済産業省の推薦を受ける等幅広く活動を展開、各種マスコミにも取り上げられ、地域の保護者を支え続け現在に至る。

1965年5月21日 東京都台東区上野生まれ。
結婚を機に夫の出身地江戸川区船堀に在住。家族：義父母・夫・二人の息子



◆スーパーバイザー◆ 守矢俊一先生(聖進学院 学院長) 遠藤美季先生(エンジェルズアイズ代表)

相談サロン 参加申込書

FAX:03-5954-6155

本用紙にご記入の上、FAXで送信ください。

Mail:mss-hidamari@gk2.so-net.ne.jp

電話:03-5954-6155

◆ お名前		
◆ お電話	◆ FAX	
◆ メールアドレス	@	
◆ お悩みの内容	不登校 ひきこもり ネット依存 その他()	

～緊急座談会～

「江戸川区の不登校について考える ～子ども達の笑顔のために～」

上田 令子（江戸川ワーク맘 代表） 北澤 彰（マルチサポートスクール ひだまり 代表）

上田：

このところ江戸川区の不登校状況は右表(表1)の通りですが、いじめ以外でも昨今はネット社会となりLINEも社会問題となっていますよね。

複合的な要因があるようですが、実際に子ども達に接している北澤さんは、どのようにこれを分析され原因がどこにあるか、現状について教えてください。

■表1:江戸川区不登校児童数

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
小学校	118	97	103	137	131
中学校	611	598	553	593	545

■表2:平成19年度 不登校理由抜粋

区分	小学校		中学校	
	計		計	
いじめ	662	人	3,864	人
	2.8	%	3.7	%
いじめを除く友人関係をめぐる問題	2,868	人	20,863	人
	12.0	%	19.8	%
親子関係をめぐる問題	4,503	人	9,825	人
	18.8	%	9.3	%
その他本人に関わる問題	9,439	人	40,706	人
	39.5	%	38.6	%

北澤：

まず、不登校の理由は複雑化の一途と言えます。

左の表(表2、表3)は5年前と最近の「不登校理由」について、総務省による日本全体のデータを抜粋したのですが、地域を限定してもデータにあまり差異はありません。

これを見ると、5年前よりも理由項目が細分化され割合も分散化していることがわかります。

特に「無気力」や「遊び・非行」という項目には、「LINE」を代表とする「ネット・ゲーム依存」や「気づかない程度の発達障がい」が数多く潜んでいると考えられます。

これには友人関係も絡みますので実に根深く、大人達には見えない、そして見せない問題がたくさん起こります。

私達のところではまず、自分の部屋でひとりで過ごす時間を減らす。家族や私達とのコミュニケーション時間を増やす。そして保護者と学校の風通しを良くする。そのために私達が間を取り持つこともおこなう。

結果として、子どもに起こっている問題を子どもだけの問題にしない取り組みをおこなうことにより、状態の改善を図っています。

先日テレビ局の取材があり、同様のお話をさせていただきました。

上田：

なるほど。となると、子どもや保護者に身近な基礎自治体である江戸川区での初動が大事ですよ！

今どのような対策が、江戸川区では求められるでしょうか？

北澤：

はい。私達のような子どもを支援する民間機関と行政、公教育がより一体となる仕組み。「子ども教育相談の一元化」が理想的と考えますね。

乳幼児期から学童、青年期まで、相談窓口をよりいっそう集約させ、受けた相談内容に合わせた専門の担当者が責任をもって対応する。

担当者は「子育て・教育」はもちろん、「医療」「福祉」「就労」「家族問題」など、公と民の垣根を取っ払ったしがらみのない連携を求めたいですね。

■表3:平成24年度 不登校理由抜粋

区分	小学校		中学校	
	計		計	
いじめ	413	人	1,923	人
	1.9	%	2.1	%
いじめを除く友人関係をめぐる問題	2,332	人	14,382	人
	11.0	%	15.7	%
親子関係をめぐる問題	4,287	人	8,175	人
	20.2	%	8.9	%
あそび・非行	274	人	10,397	人
	1.3	%	11.4	%
無気力	5,047	人	24,149	人
	23.8	%	26.4	%
不安など情緒的混乱	7,047	人	22,982	人
	33.2	%	25.1	%
意図的な拒否	981	人	4,257	人
	4.6	%	4.7	%

※%は不登校理由全体からの割合(複数回答可)

上田：

北澤さん、今日はありがとうございました。
最後に江戸川区の子ども達とお母さん、お父さんに、北澤さんの「心の叫び」(笑)的ひとことをお願いします。

北澤：

こりゃ・・・責任重大ですね(笑)
私自身、不登校を半年、ひきこもりを1年ほど経験しました。そんな地獄の日々から救ってくれたのは母でした。母が意を決し、私を泣き叫びながらひきずり出してくれた。子どもは本人の覚悟だけではどうにもなりません。母は強し！ 私はこの歳になって、母に感謝しています。あきらめないでください！一緒に新しい明日を探しましょう！こちらこそ、今日はありがとうございました。

【江戸川区の皆さまへお知らせ！】

MSSひだまりでは、「不登校・ひきこもり、発達障がい、精神疾患、ネット・ゲーム依存」などで悩む保護者さま向けの「いつでも無料相談」をおこなっています。また、生まれも育ちも江戸川区の「江戸っ子！北澤」が、セミナーや少人数相談会の講師も「無料」で承ります！まずはお電話、メールでお気軽にご連絡ください。

マルチサポートスクール ひだまり
03-5954-6155
mss-hidamari@gk2.so-net.ne.jp